

アイスホッケーのデーリー東北新聞社杯第59回八戸市実業団リーグ戦第9日は

第59回

デーリー東北新聞社杯

八戸市実業団

アイスホッケー

八学大金星 逆転勝ち



【青い森信金ー八学大】ペナルティーショットシュートアウト戦、八学大は1人目の河村竜正（右）が冷静にシュートを決める＝テクノルアイスパーク八戸

2日、テクノルアイスパーク八戸で行われた。青い森信金ー八学大は60分間で決着がつかず、ペナルティーショットシュートアウト（PSS）戦の末、八学大が7-6で逆転勝ちした。八学大は第1ピリオド（P）に4失点。大勢は決したかに見えたが、第2Pに河村竜正のハットトリック

クなどで5-5と振り出しに戻した。第3Pにも工藤聖矢の個人技で追い付き、PSS戦で勝利を決めた。青い森信金は、津久家優や月館丞らを中心に巧みなパスワークで序盤にリードを奪ったが、八学大のスピードに屈した。第10日の3日は同会場で行われた八戸クラブー八工大が行わ

れる。フェースオフは午後8時半。

（桑田友人、松橋広幸）

▽リーグ戦第9日

八学大 7-0-4-6 青い森信

（2勝1敗）5-1-1 金

1-1-1（2勝1敗）

PSS

1-0

▽得点⇨河村3、藤江、川岸2、

工藤（ハ）大渡、津久家、沖澤、

中村、田村、月館（青）

▽補点⇨工藤4、川岸3、米田

（ハ）津久家2、月館、佐々木、

澤口3、沖澤2（青）

「走るホッケー 実践できた」

○：八学大が昨年の王者を相手に大金星を挙げた。ハットトリックを決めて勝利の立役者となった河村竜正は「リードされていたが、諦める気持ちはなかった。自分たちの『走るホッケー』を実践できた」と胸を張った。

八学大は苦しい展開だった第1ピリオド（P）と打って変わり、第2Pに素早いカウンターの展開。反撃もされたが、工藤聖矢を中心に守り、河村が3点目を決めて同点に追い付いた。

第3Pで決着がつかず、3対3のペナルティーショットシュートアウト（PSS）戦へ。1人目の河村に続き、3人目の川岸丈がシュートを決めると、全員が氷上で喜びを爆発させた。9月22日の八戸ブルースターズとのPSS戦では惜しくも敗れた八学大。武田裕大監督は「あの試合があったからこそ成長できた。選手の実力は本物だ」とたたえた。